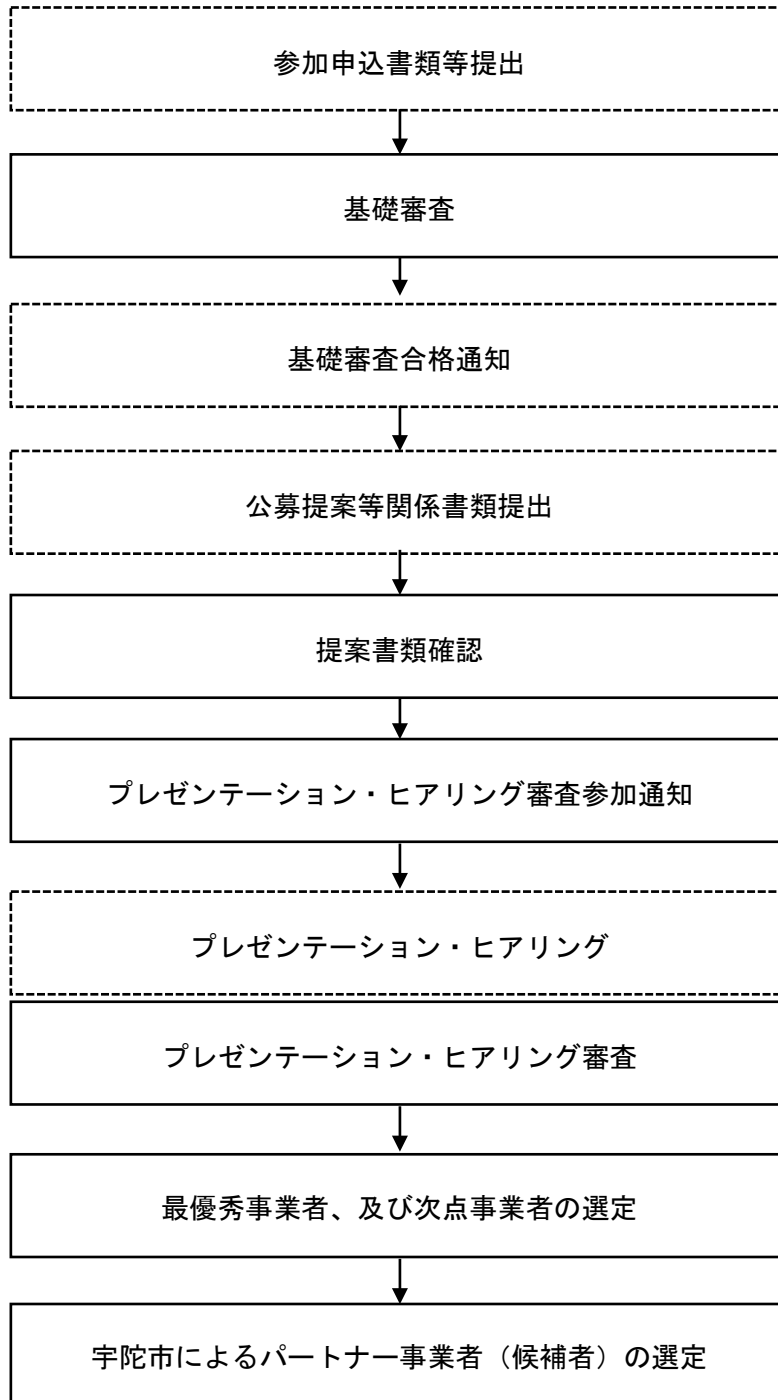


宇陀市平成榛原子供のもり公園 民間活力活用事業に係る審査基準

1. 審査の流れ

本公募における審査は、応募者の参加資格要件が満たされているか、及び提案を求める全ての項目が提出されているかを確認する基礎審査と、応募者の提案内容を評価する提案審査の段階に分けて実施します。

なお、応募者が1社であった場合でも、選定基準に従って審査します。



2. 基礎審査について

基礎審査では、事務局において、応募者から提出される参加資格を証する書類をもとに、応募者が募集要項に示す参加資格要件を満たしているかを審査するとともに、募集要項に示す提案書類の全てと、必要な記載事項に欠格事項がないかを確認します。

参加資格要件を満たしていない場合や、提案書類に不備がある場合は失格となり、提案審査に進むことはできません。基礎審査の結果については、応募者に通知を行います。

3. 提案審査について

提案審査では、選定委員会において、応募者から提出される提案書の内容、及び提案者が行うプレゼンテーションの内容について審査を行います。

(1) 審査基準、及び配点

提案審査については、以下に示す審査の視点に基づき、審査項目ごとに採点を行います。

100点を満点とする審査項目ごとの配点の合計が提案者の得点となります。

評価項目		審査の視点	対応様式	配点
基本事項	事業コンセプト	①【事業に対する理解度】宇陀市全体のまちづくりの課題や、本市の都市公園等の管理運営に係る課題、平成榛原子供のもり公園を取り巻く状況をよく理解しているか。 ②【的確性】当事業のねらいや当事業が公民連携事業であることを踏まえ、提案内容として示す3つの考え方を的確に示すことができているか。 ④【ターゲットの設定】当該事業への期待や、平成榛原子供のもり公園の特性、民間事業者の強みを理解した上で、具体的な利用者のターゲット像とその妥当性を提示しているか。 ⑤【事業目標等の設定】当事業のねらいを理解した上で、具体的な事業目標を設定することができるか。 ③【姿勢】当該事業が、公民連携事業であることを踏まえ、事業条件の検討、事業実施の各段階におけるパートナー事業者としての役割や宇陀市や地域との良好な関係構築していく上での姿勢を提示しているか。 ⑥【具体内容との整合性】募集要項に示すコンセプトを踏まえた上で、具体的な提案事項に即したコンセプトとなっているか。	様式12（事業コンセプト提案）	10

評価項目		審査の視点	対応様式	配点
	実施体制	<p>①【実施体制の確保】公園施設等の設計・施工・施工監理・管理運営など、事業内容ごとに担当する法人等が明確となっているか。</p> <p>②【担当法人の信頼性】事業内容ごとに担当する法人は、健全な経営状態にあるとともに、役割に応じた実績や必要な資格を十分に有しているか。</p> <p>③【業務責任者の信頼性】各業務責任者は、役割に応じた実績や必要な資格、及び専門性を十分に有しているか。</p>	<p>決算報告書、様式 1 3 - 1（実施体制図）、</p> <p>様式 1 3 - 2（担当事業者調書）、</p> <p>様式 1 3 - 3（業務責任者調書）</p>	10
	事業実績	<p>①【関連事業の実績】提案者は、当該事業と類似する事業実績を有しているか。</p> <p>②【実績の成果】有する実績は、信頼に足る成果を収めているか。</p>	様式 1 4（事業実績調書）	5
事業計画に係る提案	施設整備計画	<p>①【事業趣旨との整合】提案する施設は、募集要項に示す考え方や、民間事業者が設定するコンセプト等の実現に整合したものとなっているか。</p> <p>②【魅力向上】平成榛原子供のもり公園、及び本市の魅力向上につながる提案となっているか。</p> <p>③【公平性の担保】公園利用者の動線、既存の公園施設等を踏まえた配置計画となっており、従来の公園利用者の継続利用を可能としたものとなっているか。</p> <p>④【公民の負担の明確性】施設ごとに、整備・撤去等を行う主体や費用負担の想定がなされているか。</p>	<p>様式 1 5 - 1（施設配置・動線計画書）、</p> <p>様式 1 5 - 2（各種施設概要書）</p>	15

評価項目	審査の視点	対応様式	配点
管理運営計画	<p>①【事業趣旨との整合】提案する事項は、募集要項に示す考え方や、民間事業者が設定するコンセプト等の実現に整合したものとなっているか。</p> <p>②【魅力向上】平成榛原子供のもり公園、及び本市の魅力向上及び、新たな利用者の増加につながる提案となっているか。</p> <p>③【公平性の担保】過度な利用者負担を強いるものではなく、従来の公園利用者の継続利用を可能としたものとなっているか。</p> <p>④【人員配置】施設の管理運営にあたり、事業の円滑な推進、安全性の確保に十分な人員体制を見込んでいるか。</p> <p>⑤【公民の負担の明確性】維持管理・運営に係る業務ごとに主体や費用負担の想定がなされているか。</p> <p>⑥【安全性確保】平成榛原子供のもり公園が有する災害リスク等を理解し、利用者等の安全を確保するために必要な対応が示されているか。</p> <p>⑦【継続性】継続的な事業に必要な集客数・収入の見込みを、実績や事例等の根拠に基づき、設定しているか。また、追加投資など、収益低下リスクへの対応を検討しているか。</p>	<p>様式 1 6 - 1 (管理運営方針提案書)、</p> <p>様式 1 6 - 2 (個別施設の運営方法提案書)、</p> <p>様式 1 6 - 3 (人員配置計画書)、</p> <p>様式 1 6 - 4 (管理運営区分提案書)、</p> <p>様式 1 6 - 5 (リスク管理計画書)</p>	15
事業スキーム	<p>①【理解度】都市公園や公共施設を活用した公民連携事業を行う上で、活用し得る諸制度や、事業契約に向けて検討すべき事項について、十分に理解できているか。</p> <p>②【実現性】事業スキームについて、本市の課題を踏まえつつ、実現性が高いものとなっているか。</p> <p>③【継続性】公民の負担について、継続性の高いものとなっているか。</p> <p>④【収益還元】事業収益を本公園の魅力向上や、市の経済的負担の軽減等のために還元することができるスキームとなっているか。</p> <p>⑤【透明性】民間事業者が行う事業内容について、透明性が高く、公益性の確保のために当市や市民の意向の反映が可能なものとなっているか。</p>	様式 1 7 (事業スキーム提案)	15
地域貢献計画	①雇用創出、地域産業活性化、市民活動維持・促進、環境配慮などの観点から、本市及び地域の持続可能な発展に寄与することができる工夫を提案しているか。	様式 1 8 (地域貢献計画書)	5

評価項目	審査の視点	対応様式	配点
事業収 支計画	①【財務実行力】収支計画が妥当であり、それに見合う財務負担力を有しているか。 ②【実現性】収支計画、及び資金調達の試算根拠が明確なものであり、実現性が高いものとなっているか。 ③【バランス】公民双方における収支のバランスが取れているか。 ④【還元性】収益を自己の利益とするだけでなく、事業への再投資や公共への還元等に活用する意図が見られるか。 ⑤【工程計画】事業全体のスケジュールが具体的で実現性の高いものとなっているか。	決算報告書、 様式 19-1 (収支計画書)、 様式 19-2 (資金調達計画書)、 様式 19-3 (事業スケジュール表)	15
プレゼンテ ーション	①【体制】当該事業について、提案者の組織内での裁量を有する担当者が出席しているか。 ②【コミュニケーション能力】パートナー事業者として、事業契約に向けた協議や、公民連携事業を遂行する上での知識や資質があるか。 ③【パブリックマインド】事業を通じて、地域に貢献しようとする意欲があるか。	—	10
合計			100

(2) 得点の計算方法

審査においては、審査委員が個別に下表の審査項目ごとに各応募者の提案内容を評価し、点数化します。その際の得点の計算方法については、原則として項目ごとに以下の5段階で評価を行い、各審査委員の評価の平均を各項目の配点に乗じた値を得点とします。

評価	判断基準	配点に乗ずる係数
A	優れている	1.0
B	やや優れている	0.8
C	普通	0.6
D	やや劣る	0.4
e	劣る	0.2

(3) 最低基準の設定

「事業スキーム」「施設整備計画」「事業収支計画」の項目については、評価が9点に満たない場合は、失格とします。